

大阪社会福祉士会「創立30年記念式典」

大阪社会福祉士会 副会長 氏家幹夫

去る令和6年2月11日、ホテルアウィーナ大阪にて『大阪社会福祉士会結成30年記念式典』を当会主催にて開催いたしました。当日は、ご来賓の大阪府福祉部吉田真治部長をはじめ、多数の関係機関よりご臨席を賜り、当会会員と合わせて55名の参加者となりました。新型コロナ禍で30周年の年より1年遅らせての開催であり、新型コロナのみならずインフルエンザも猛威を振るう時期にもかかわらず、多数の方にご参加いただきました。

当日プログラムでは、まず30年の長きにわたる期間、会員として当会を支えてくださった方々に感謝の花束贈呈がありました。続いて記念スピーチと題して、当会の始まりとなった第1回社会福祉士国家試験の合格者による勉強会の立ち上げに参画され、本会第2代会長、初代相談役として、また、全国社会福祉士会でも会長を務められた杉村和子氏によりスピーチをご披露いただきました。

第2部の祝賀パーティーは、日本社会福祉士会西島善久会長より乾杯のご発声を頂戴して始まりました。ごあいさつの中で、専門職としての社会福祉士が老人保健施設の相談員としての報酬算定で初めて認められたことをご報告いただき、その喜びを分かち合うとともに、責任感を参加者と共有いたしました。

続いては、『「なにわだより」でたどる30年』と題した、当会広報誌の30年を紐解いてみて、改めてその時その時にどのようなことがあったかを広報誌記事とともに振り返る企画です。西島会長の若かりしころの顔写真が掲載されているな

ど楽しく、ほっこりと当会の30年を振り返ることができました。さらに、「今だから言える!大阪社会福祉士会での涙あり、笑いありのエピソード」と題し、当日ご参加いただいた方々から、ご自身と当会との関係について、あるいは思い入

れについてのエピソードをご披露いただきました。災害支援の活動や相談センターなど、全国に先駆けて大阪が取り組んだ活動についてのお話をお伺いすることができ、改めて当会の先駆性、継続性を感じました。

当日配布資料には、前回20周年記念時に初代(泉亮氏)から第4代会長(渡部健志氏)までがご寄稿いただいておりますので、今回は第5代(三木一雄氏)、第6代(直木慎吾氏)の会長にお祝いのメッセージをご寄稿いただき、掲載させていただきました。

開会のあいさつを当代(第7代)の前川阿紀子会長がご参集いただいた皆様への感謝とともに述べ、閉会のあいさつを山田美代子副会長が今後に向けての決意とともに述べ、めでたくお開きとなりました。

なお、詳細記事は『大阪社会福祉士会』第30号に掲載される予定です。



御礼! 近畿ブロック研究・研修 大阪大会

参加者177名 大盛況のもと、終了しました!
能登半島地震への災害義援金を募集し、
総額119,874円集まりました。
皆様、ご協力ありがとうございました!
来年度は開催地は淡路島です!

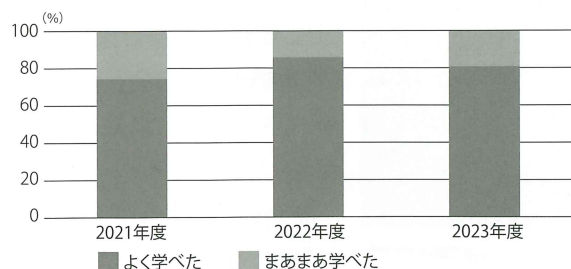
生涯研修センター情報 2023年度基礎研修Ⅲ修了者アンケート結果より 基礎研修のその先

生涯研修センター 研修部会 副会長 秋山昌平

2023年度基礎研修Ⅲのアンケート結果を報告いたします。受講生53名中37名の回答がありました。今回は、基礎研修Ⅲ修了者の「学び」を中心に、まとめさせていただきます。アンケート結果の感想もいくつかご紹介いたしますが、修了者自身からの声・感想等につきましては、また後日、掲載させていただきます。

まず「基礎研修全体を通して、学びはありましたでしょうか」との質問に対し、よく学べた30名(81.1%)、まあまあ学べた7名(18.9%)、あまり学べなかった0名、学べなかった0名であり、全員、基礎研修から「学び」を得ることができたという結果です。また、2021年度(オンライン開催)、2022年度(オンライン・対面開催)と比較しても、結果は同様で(図表1)、全員が「学び」を感じられる研修となっています。基礎研修Ⅰの100名を越える受講者数からはじまり、基礎研修Ⅲを修了する方は、毎年50名程です。修了に至ったみなさまは、自己研鑽への意識が高い方々なので、この「学び」の結果は当然の結果なのかもしれません。基礎研修を修了することで、社会福祉士としての基盤となる知識・技術・価値が身につくとともに、会員同士のつながりもできたのではないのでしょうか。今年度のアンケートからの感想を、いくつかご紹介いたします。

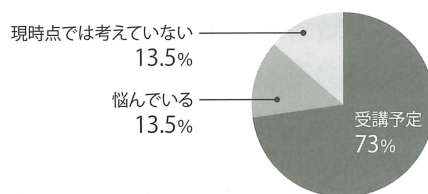
図表1 基礎研修 受講生評価 年度別比較



- ・資格取得後長い年月を経て、振り返りと共に再確認する機会になったこと、社会福祉士としてアップデートできたかなと思います。3年間は長いなあと思いましたが、よい学びの機会になりました。ありがとうございました。
- ・長い研修期間を終えたことで、実務だけでは得られないレベルまで自分の知識や考え方の幅が広がり自信もついた。他の受講生の話や考え方を聞くことができたのもプラスになった。
- ・学校で学んだことを振り返れ、学びをさらに深めることができた。
- ・基礎研3が一番濃い内容で、レポート作成、事前課題が大変でした。その分やり遂げた実感もあり、自信につながっていくと思います。

修了者のみなさまは、成年後見制度への関心も高いようです(図表2)。しかし、これからは自身の研鑽だけでなく(研修受講等だけでなく)、会活動も担って頂きたい存じます。基礎研修を終え、「社会福祉士として」という自覚・認識は培われたとはいえ、社会における社会福祉士の認知度はまだまだです。仕事、家庭、プライベートなど、みなさまもお忙しいことかと思いますが、それぞれバランスをとりながら(「倫理綱領Ⅳ-8自己管理」)、支部活動、各委員会活動などを通じ、会と一緒に支えて頂けたら幸いです。

図表2 成年後見人材育成研修の受講についてどのようにお考えですか(回答37件)



地域情報

これからの三島支部に期待っ!

三島支部 東島弘導

私は2015年度より三島支部の支部長として、4期8年間務めて参りました。何とか任期を務めあげ、2024年度からの三島支部は新支部長体制で運営することになります。

振り返ると8年の間にはいろんな活動や楽しいことがありましたが、その中でもコロナ禍による運営内容の変化や支部活動の中止がとても印象深い出来事です。

コロナ禍では会の活動もほとんどがリモートになり、それまでは対面での定例会議や研修会が当たり前のように行われていました。一例をあげると、毎月19時30分に大阪社

会福祉会館に集合して支部長・事務局長会議があり、会議後には事務局のスタッフと支部長が懇親会を行うことも時々ありました。また、2018年の第25回近畿ブロック研究・研修大阪大会はホテルアウィーナ大阪でたくさんの会員さんやボランティアの参加があり、懇親会も盛大に行われていたことが印象に残っています。一方、三島支部の活動においては、コロナ禍では全く活動が出来ない時期が続き、例年行っていた施設見学会や講演会も開催できない状況でした。しかし、他支部と同様に職能団体として、支部活動

に対する情熱は絶えませんでした。少しずつZOOMを利用して運営会議が出来るようになり、不慣れながらも試行錯誤しながら支部活動を一步步つ歩んできました。(現在では通常に戻りつつあります。)

三島支部の会員数は大阪各支部の中で一番少ないですが、ユニークな考えを持った会員やネットワークの広い会

員の方が多く、講演会など支部活動は他支部に負けないうらい趣のある活動が行えていると実感しています。

今年度からは新支部長と新役員を中心に支部活動の企画・運営を進めて参ります。より一層、会員さんの満足度を上げるために『チーム三島』で取り組む所存です。これからの三島支部に期待してください。

活動予定

4月

1 月	相談C支援班会議／なにわだより発行
2 火	
3 水	
4 木	
5 金	
6 土	
7 日	
8 月	
9 火	理事運営会議
10 水	地域包括NW委員会
11 木	生涯研修部会
12 金	
13 土	
14 日	合格祝賀会
15 月	
16 火	
17 水	バリアフリー展
18 木	支部長会議／後見必須研修／バリアフリー展
19 金	バリアフリー展
20 土	
21 日	
22 月	
23 火	相談C 相談部会
24 水	
25 木	
26 金	
27 土	
28 日	
29 月祝	
30 火	

5月

1 水	
2 木	
3 金祝	
4 土祝	
5 日祝	
6 月振休	
7 火	
8 水	地域包括NW委員会
9 木	生涯研修部会
10 金	
11 土	
12 日	
13 月	
14 火	理事運営会議
15 水	
16 木	支部長会議／市民後見人担当者会議
17 金	
18 土	理事会／後見必須研修
19 日	
20 月	
21 火	相談C 運営会議
22 水	
23 木	
24 金	
25 土	
26 日	
27 月	
28 火	
29 水	
30 木	
31 金	

なにわの掲示板

大阪社会福祉士会【年会費】の引き落としは5月13日(金)です。

年会費16,000円をお届け口座より自動引き落としします。口座残高の確認をお願いします。

相談センター【ぱあとなあ名簿登録料】の引き落とし6月27日(木)です。

ぱあとなあ名簿登録料(10,000円)は6/27にお届け口座より自動引き落としします。

尚、引き落とし手数料(121円)をご負担頂いております。ご了承下さい。

2024年定時総会 6月29日(土) 大阪府社会福祉会館

今回は、対面開催の予定です。6/1に議案書を送付する予定ですので、会場へ来場されない場合は委任状のご提出をお願いします。詳細は後日HP等でお知らせします。

～いちご一会をつなぎ 未来を描いてゆく～ 第32回日本社会福祉士会全国大会・社会福祉士学会 栃木大会

“これからの地域社会を担う社会福祉士の挑戦”をテーマに2024年6月22、23日に開催されます。詳しくは日本社会福祉士会HPを参照下さい。

法人賛助会員を募集しています。

本会の活動へご理解頂ける法人賛助会員を募っています。求人広告など賛助会員ならではの特典もあります。詳しくは事務局までお問い合わせ下さい。

事務局の電話・窓口対応時間の変更について

事情により当面の間、事務局の電話・窓口対応時間を10:00～12:30、13:15～17:00とさせていただきます。ご不便をおかけしますが、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

住所・勤務先などの変更について

住所・職場・連絡先の電話番号など変更があった場合、本会HP会員ページへ変更届け出書を掲示していますので忘れずに提出してください。

本会推薦で公的委員に就任されている皆さまへ

日頃より当会の運営にご協力を頂きありがとうございます。各自治体の公的委員(介護認定審査会、障がい支援区分認定審査会委員等)として本会が推薦し、それぞれの分野でご活躍されていることと存じます。ご就任前に確認頂きました推薦基準を改めてお目通し下さい。

公的委員への推薦に関しては、入会3年以上、基礎研修修了者などの個人条件とともに、次の要件も承認頂ける方を推薦しています。

1 公平性を確保する観点より連続した推薦は原則最大2期4年とすること。

2 本会に対して年間最大3万円を上限に、報酬より2割程度の一般寄付をお願いできる方

上記2点を推薦基準とし各支部にて候補者の推薦を行い、理事会で承認を行っています。

この推薦基準は、公平性の観点から広く会員が公益活動へ参加して頂く機会を確保すること、本会への寄付金が税額控除の対象となるために、より多くの会員より一般寄付を募る体制を構築するために理事会で確認されたものです。

■会推薦の委員会(審査会等)報酬等の寄付

三井住友銀行 上町支店 普通預金 1193438

公益社団法人 大阪社会福祉士会

なお、後見活動の寄付と一緒に寄附をした等のお話も伺いますが、寄付目的が異なりますので、必ず上記の口座へご寄付頂きますようお願いいたします。

成年後見人材育成研修の募集が始まりました。

募集案内を封入していますので応募要項に従いご応募下さい。

会議報告について

会議報告は、HPの会員ページに会議議事録として掲載しています。

本会HP会員ページのID/PWについて

会員ページの閲覧にはID/PWが必要です。ID/PWは新入会時の資料送付状に記載しています。わからない方は、必ずメールもしくはHPのお問い合わせフォームで会員番号・氏名を明記の上お問い合わせください。電話ではお答えできません。

編集後記

通勤時の駅までの桜並木。あと何年見られるだろうと思いながら、毎年、眺めていました。でも昨年、遊歩道が整備され、多くの桜が伐採されました。一日一日を大切にしたい! 改めて思った今年の4月です。(さといも)

大阪社会福祉士会 会員数(2月末現在) 2,350名



公益社団法人 大阪社会福祉士会

Osaka Association of Certified Social Workers

〒542-0012 大阪市中央区谷町七丁目4番15号 大阪府社会福祉会館内(1階)

編集責任者: (公社)大阪社会福祉士会 会長 前川阿紀子

事務局開局時間/月～金の平日 10:00～12:30、13:15～17:00

TEL 06-4304-2772 FAX 06-4304-2773 E-mail ofuku@oacsw.or.jp URL <http://www.oacsw.or.jp/>